



東柏ヶ谷、森康喜・敏枝さんの長男=1歳



上河内、浜田裕栄・由紀子さんの長男=1歳



柏ヶ谷、秋田潔・美幸さんの2男=1歳



東柏ヶ谷、川崎真由佳さんの2女=1歳



門沢橋、斎藤剛・恵子さんの長男=1歳



杉久保、木内克巳・友加利さんの2女=1歳

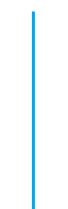


本郷、濱田俊彦・智子さんの2男=1歳

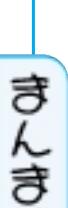


中新田、加藤信一・千歳さんの2男=1歳

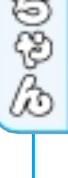
まんまる赤ちゃん



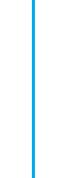
森もり康喜ちゃん



浜田遼太郎ちゃん



秋田直樹ちゃん



川崎真由佳ちゃん

このコーナーに掲載を希望する方は…

電話で広報広聴課(内271)へ。ただし、申し込み時

点で1歳未満の赤ちゃんに限りますので、お早めにどう

ぞ。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。

みなさんからの作品

海老名の風景②

(▷場所 自宅の庭から中央方面 ▷撮影日 3月10日)
望地在住・金子京子さん撮影

「継続は力なり」という名言があります。1面の事業所もまさに継続の結果、ごみゼロを達成したのでしょ
う。広報えびなも今回で700

号を迎えることができました。「幅広い層から説いており、「常識は人間の心のよりどころ。完全になくすことはできません。でも、常識とらわれず『なんでもあり』と考える人たちが増えれば、社会や教育も変わってくるのです。そんな出会いを求めて、これからは山奥の分校などへこちらから押しかけて行くべらいの気持ちで、『出前』をしていきたいですね。今日も『なんでもハウス』は、常識の扉を開くマジックを演じ続けています。」

編集機記

号を迎えることができました。これからも担当一丸となつて、より親しみのある紙面を目指して継続している

▼社会実験の成果に期待

4月13日から東京・有明で開催された「国際環境展」。本市が環境にやさしい交通システムの実験で使用している電気自動車に、多くの注目が集まっています。



フォトピックス

▼白球を追い熱戦が展開

「少年少女スポーツ大会」全6種目の先陣を切って、4月2日から野球がスタート。参加した18チームの小学生たちが、好プレーの数々を繰り広げました。



3月下旬に行われた、有馬図書館の「手作り絵本教室」。子どもたちが自分で描いた世界でただ1冊の絵本を、友達の前で披露しました。



今月のプロフィール

工作やマジックで自由な心育てる
「なんでもハウス」主宰

嶋崎 博さん・滋子さん



どこでも好評の“出前手品”

「世界各国の子どもに太陽の絵を描かせたとき、赤く描くのは日本など少数の国だけだそうです。世界的には少数派の『赤い太陽』が日本では常識であるために、子どもたちが太陽について『赤い』以外の発想が思い浮かばないのでないか。そんな心配が、私たち『なんでハウス』の出発点です」と話すのは、上郷在住の嶋崎博さん・滋子さんご夫妻。

10年以上前に自宅の車庫を改造して、子どもたちの遊び場「なんでもハウス」を設立。「常識に縛られず、自分之力で考える人に育つように」と漢字の部首カルタやペットボトルのロケットなどの、アイデア工作をしながら遊べる場所にしました」と滋子さん。

去年春からは、評判を聞きつけた幼稚園・高校・老人会などの招きで出かけ、そこでアイデア工作の指導やマジックを披露する「出前のなんでもハウス」に衣替えし

曲がるペンにびっくり!